I was born and raised in a very big city called Johannesburg in South Africa so living in the countryside is very new for me. At first I was quite confused with being in the countryside and not being close to malls and other conveniences that I am used to, but slowly that is starting to be something I enjoy about being in Kawane. Sometimes I look up at the sky and the moon shines more brightly than I have ever seen in my life, that is my favourite part of staying in the countryside. The moon and the stars shine brighter, sometimes it feels like they are shining specially for me. This is a beautiful small town and I am very lucky to be surrounded by nature and so much beauty and sometimes I find myself looking out of the window in the teachers room- just to see the beauty. I teach English at Kawane High School and the students are really my favourite part of the day. I learn so much from watching them- they are such smart, funny, mature and wonderful people who have such great, noble dreams! I really think very highly of them and I enjoy teaching them very much. The teachers at Kawane High School are also wonderful people and they are so good natured and kind. I must say that it has been quite challenging for me to adapt, because it is so different to what I am used to, but I really am happy here. Japan has the type of culture that is so community focused and it reminds me of a South African concept we have, which is called Ubuntu' which means 'having humanity towards others'. Some people may have forgotten it, but it is a very important part of our ancestry as Africans- and I experience it here in Japan.

I have explored a few parts of the prefecture so far and there is just so much to take in, especially here in Kawane. I really want to start exploring more of Kawane and I am always sending pictures to my friends in the city and they always say they cannot believe how beautiful Kawane is. I look forward to meeting more friendly people and to having more experiences in this beautiful town, most of all I look forward to learning the language as best as I can- I had never read, written or spoken any Japanese at all until I came to Japan, so it can be quite overwhelming at times. I will do my best to learn this wonderful language as I think I would like to speak it for the rest of my life!

Thank you for welcoming me into your beautiful small town.

Kind Regards, Wisani Shibambu

アフリ

力

日

ウィサニ・シバンブ

の中で、川根高校の生徒に英に思っています。また、1日い光景を見られることを幸運 いていますね。 いるかのように、 根では、まるで私 です。 また落ち着いていて素晴らし 生徒はとても賢く、 7 ており、それを見るの 空を見上げると、今まで見た なかったりすることに困惑し 知らない土地で、ショッピン こともなかった明るい月が出 てきています。ときどき、夜 で生活することが楽しくなっ ていましたが、次第に、 グモールが近くになかったり、 な場所に住むのはとても新鮮 れて育ったので、 スブルグという大都市に生ま 豆を教え、 おり、職員室の窓から美し川根は豊かな自然にあふれ 楽しみになっています。 きな時間 しいものがすぐに手に入ら です。毎日彼らから多くの はじめは、 まるで私に向かっ 接することが1番 です。川根高校の 月や星 川根という 根のよう 面 が一 百く、 が 7 Ш つ 根 感じています。 人々にとって大切な言葉であります。現在でもアフリカのントゥ」という古い言葉があ ります。 をもつ」 えて行動する「思いやり」 カでも、「他人に思い 文化がありますね。

日本で私もその大切さを

これから川根でよりたくさん くつかの県に行ったり、 になることがたくさんありま を探索したりする中で、 索したいと思っています。 を送ると、 た。私は、もっと川根を探 人と出会い、より多くのこ 私は、今まで日本の中の 美しいと言ってい 私の友だちに川根の 信じられないく います。 学川のい 写 11

ます。 とができて、 もありますが、 を学んでい りに思い、 ことを学ばせていただいてい 、ます。 まだ慣れていないところ 本当に彼らのことを誇 、ます。 彼らと楽しく英語 とても幸せに思 川根に住むこ 環境の変化

日本では、 手のことを考

に温かく迎えいれていただき ように頑張ります。 ありがとうございます。 うに頑張ります。私を川根日本語が話せるようになる ウィサニ・シバンブ

という意味の「ウブ「他人に思いやりの心

南アフ

IJ

0)

います。学べることを、楽しみにして学べることを、楽しみにして ことではありますが、 らせています。また、 話したり書いたりしたことも とを経験できることに心を躍 今まで 大変な



# 眼科患者さん無料送迎いたします。

ご近所から、当院まで送迎車にて無料送迎いたします。 ご予約は電話にてお願いします。 (当院に初めて受診される方もご利用いただけます)

住所:島田市栄町 4-19(木材会館 1 F) 島田駅から徒歩1分 **2** 0547-37-0431

診療時間:午前8時30分~12時、 午後3時~6時 ※土曜日午後は5時まで (休診日:水曜日、日曜日、祝日)

> ここにも、一つの物語。 広報かわねほんちょう 26

、根高校外国語指導教師

### 戸籍の窓辺出生・婚姻・おくやみ

#### お誕生おめでとう

 地区
 氏名
 性別
 保護者

 水川
 板谷
 英音
 男
 康平

#### ○ご結婚おめでとう○

| 地 区 | 氏 名   | 前住所 |
|-----|-------|-----|
| 青 部 | 井澤 大樹 | 青部  |
|     | 赤堀 恵理 | 菊川市 |
| 久野脇 | 中原 梓  | 久野脇 |
|     | 稲熊 佳菜 | 静岡市 |
| 小長井 | 芹澤佑太郎 | 小長井 |
|     | 野口 智香 | 千頭東 |

#### おくやみ申し上げます

| 地 区 | 氏 名   | 享年  | 届出人  |
|-----|-------|-----|------|
| 徳 山 | 太田てつ子 | 84  | 太田啓雄 |
| 寺 馬 | 小田 さわ | 102 | 小田仁之 |
| 藤川  | 植田 時夫 | 84  | 植田和宏 |
| 徳 山 | 山本 亘  | 87  | 山本八重 |
| 下長尾 | 野口 きみ | 88  | 野口東  |
| 梅高  | 河畑喜一郎 | 76  | 河畑一之 |
| 下 泉 | 竹中 敏夫 | 92  | 竹中繁晴 |
| 徳 山 | 大片冨士夫 | 91  | 大片善史 |
| 上 岸 | 鈴木 敏惠 | 87  | 鈴木浩二 |

- ■戸籍欄に掲載を希望されない場合は、届 出時に窓口でお伝えください。
- ■前々月に届け出された出生・婚姻・死亡の届け出の内、本町に住所があり本町の窓口(本庁・総合支所)で受け付けた分のみ掲載しています。

税務住民課☎ (56) 2222

編

集

日々の営みに鉄道が溶け込んでほっていた。線路沿いの家から、窓を開けて作業を穏やかにら、窓を開けて作業を穏やかにら、窓を開けて作業を穏やかにら、窓を開けて作業を穏やかにら、窓を開けて作業を穏やかにがしていた。 \_であり、 付近 る。 方に同 特集冒頭 で撮 行頭の そして[らしさ]でも この の入れ替え作業が。春の陽気の下、 町 の 一当たり 根 両

### 道を通して探る、私たちの「ルーツ」

川根本町町史研究会(長塚英夫会長)は、町内の古道に関する 歴史や現状についての調査結果をまとめた「川根本町の古道」 を発行しました。

同会は、町内の歴史に興味関心を 持つ町民を中心に組織し、郷土史の 調査研究活動に取り組んでいます。

今回発行された冊子は、会員がそれ ぞれの在住地区において、約3年間か けて年長者からの聞き取りや古地図 および写真などの収集を実施し、その 結果を地区ごとにまとめたものです。



冊子について紹介する同会 会員(中央:長塚会長)

発行にあたり長塚会長は「古い道を調べることで、私たちの祖先がどこから来たかというルーツや、周辺地域とどう関わっていたかということを知ることができる。調べれば調べるほど奥が深く、まだまだ調査しきれていない箇所も多い。今回の



発行をきっかけに、皆さんからの情報がさらに集約されることで、また新しい発見があることを期待している」と笑顔で話しました。

冊子の発行部数は200部で、町内の図書室や公共施設、周辺市町の図書館などで読むことができます。

さらなる飛躍を目指して一

## サッカーJ3リーグ 「藤枝MYFC」を応援しよう!

5月の対戦日程

(藤枝総合運動公園サッカー場での開催試合のみ)

21日(日) 第9節対 ギラヴァンツ北九州

28日(日) 第10節 対 FC琉球

※両日とも午後1時開始

3月16日、小山淳代表と石田祐 樹広報部長が来町し、今シーズ ンの飛躍を誓いました。

